

## 新青年部長に聞く！

J A 札内青年部の第 64 回定期総会において、任期満了による役員改選が行われました。これに伴い、部長をはじめとする新年度役員が決定しましたので、新青年部長の木田徹さんにお話を伺いました。

### ―就任にあたり―

長い冬も終わりを迎え、暖かな春の日差しを感じる時期になってきました。盟友並びに、組合員の皆様方におかれましては、春耕期を間近に、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。この度、前部長の後任にあたりまして、誠に微力ではありますが、役員一同思いをひとつにし、盟友の皆様方のご協力のもと、一生懸命努めさせていただきますと思っています。



私たち青年部といたしましても、日々変化する農業政策や国際情勢を把握し、食を担う農業者として、なるべく学習会や研修会、次世代を担う子供たちへの食育のために取り組んで参りますので、今まで同様組合員の皆様方には青年部活動へのご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。

### ―今年の活動の抱負―

札内農協青年部の人数は他の農協に比べ少人数ではありますが、部員同士の絆を深めていただき、共同組合の理念のもと、組織の一員である農協青年部として果たすべき役割も重要で、各活動を通して魅力ある青年部活動を目指していきたいと思えます。

そのためには、様々な事業を通じてたくさんの農業青年と交流を持ち、自分たちの農業に対する視野を広げていきたいと思えます。また、今後青年部として何が出来るのかみんなで話し合い、長期間に渡って意味のある事業を展開していきたいと思えます。

### ―今後について―

3年前の東日本大震災から始まり、復興の目途が未だに立たない中、原発の放射能漏れ事故の影響でますます食の安全・安心が求められています。

また、異常気象により農産物の生産条件悪化、また T P P 参加交渉表明という大きな問題を抱え、今後の農業経営を考える上で、先行きの不透明感は強まるばかりです。ここで、今

一度消費者と共有するためにも青年部の存在意義を再確認し、今後の農業経営や諸問題に取り組んでいきたいと思えます。

## 女性部だより

札幌農協女性部の第 62 回定期総会が 2 月 27 日に開かれ、平成 25 年度の事業収支決算報告を承認するとともに新年度の事業計画を協議しました。

25 年度より役員任期が 2 年に変更になり、今回は役員改選がありませんでしたが、部員からは「私たちも応援させていただきます。」との励ましの言葉を頂く場面もありました。

総会には部員の他、銀鈴会、友の会など下部組織の代表や来賓など 17 名が出席。26 年度事業計画では、下部組織合同の交流会や管外視察研修、1 日バス研修、生涯学習、つどいの会の実施などの基本計画を決定、部員拡大のため各地区で積極的な勧誘活動を進める点が確認されました。また、下部組織の銀鈴会、友の会、さくらんぼの会、料理サークルの 4 団体から活動報告が行われました。

### 女性部友の会総会

女性部友の会の定期総会が 2 月に開かれ、新年度の事業計画を協議するとともに、役員改選が行われました。また、新年度事業計画は夏季研修会（6～7 月）、料理講習会（11～12 月）、サークル活動（12 月）、冬季研修会（1～2 月）などで、女性部行事へ積極的に参加する方針です。

### JA さくらんぼの会 ふれあい会

JA さくらんぼの会のふれあい会が 2 月に幕別温泉パークホテル悠湯館で開かれ、組合員家庭の 80 歳以上の高齢者 33 名を招いて健康体操やゲーム、昔の遊びを通して交流を深めました。

この事業は北海道共同募金会の助成を受けて、平成 15 年から毎年実施され、今年が 11 回目の開催となりました。

午前中は高齢者向けラジオ体操・ゲームなどで楽しみ、午後からは参加者全員で昼食をとり、さくらんぼの会の会員も輪に加わり、百人一首をして楽しいひと時を過ごしました。終始、笑いの絶えない 1 日でした。

